

令和5年度 外郭団体 評価シート

団体名	静岡市勤労者福祉サービスセンター	所管課	商業労政課
設立目的	静岡市内の中小企業に勤務する勤労者と事業主、静岡市に居住し、市外の中小企業に勤務する勤労者等を対象として、総合的な福利厚生事業を提供することにより、中小企業で働く勤労者等の活力の増進と市民福祉の向上及び産業の発展に寄与することを目的とする。		
団体の役割	<p>1. 総合的な福利厚生事業の実施</p> <p>(1) 中小企業勤労者等の生活の安定及び財産形成に資する事業</p> <p>(2) 中小企業勤労者等の健康維持・増進に資する事業</p> <p>(3) 中小企業勤労者等の自己啓発及び余暇活動に資する事業</p> <p>(4) 中小企業勤労者等の老後生活の安定に資する事業</p> <p>(5) 中小企業勤労者等に対する給付等に関する事業</p> <p>(市の役割：広報紙掲載、行政文書配布(組回覧)及び庁内・関係施設へのチラシ配架など、当団体の認知度を高めるための支援を行うこと。)</p>		

《経営計画書 取組状況》

1 団体の取組状況

(1) 団体における取組と結果

施策	評価指標	目標値	実績	備考
生活の安定及び財産形成に関する事業	会員数の増加	18,189人	17,839人	
	物資あつ旋等利用件数	13,469件	11,737件	
	切り取り式クーポン券利用件数	53,507件	24,763件	
1 団体意見	<p>物資のあつ旋事業では、価格の高騰した商品を、主に会員事業所の小売店で廉価で購入できるなど、日常生活に密着した事業を実施した。実績数では前年度減となったが、当初予算編成時から減額していたことにもよると考えている。また、近年はネット通販の普及等から、商品の選択肢が限られてしまう会報誌掲載事業は、申込者数減となっているため、物資あつ旋事業を今後どう展開するかが課題となってきている。</p> <p>切り取りクーポン券事業は、コロナの感染拡大により中止する事業が増えたため、拡大した事業だが、コロナが収束してきたことから、従来の事業を実施できるようになってきたため、当初予算編成時から予算減としていた。一方、業者に交渉し、当SCの負担がなくても割引される切り取りクーポン券事業を7事業実施するなど、費用や件数に含まれない事業を多く実施している。</p> <p>地元密着や利用できる店舗等の所在などバランスを考慮し、会員の要望を捉え、更なる会員サービスの向上を図っていく。</p>			
関係課意見	<p>物資のあつ旋にあたり、物価の高騰した商品を選定するなど、物価高騰の影響を受ける市内勤労者の生活の安定に向けた取組が実施できている。また、切り取り式クーポン事業においても、提携事業者の掘り起こしにより、随時新たなクーポンの提供を行う要努めている点が評価できる。</p> <p>一方、両事業において、利用件数が目標件数を下回っていることから、引き続き会員ニーズの把握に努め、勤労者のニーズに対応した事業展開に努めるようお願いしたい。</p>			

	項目	評価指標	目標値	実績	備考
2	健康維持・増進に資する事業	共通割引券利用件数	32,783件	34,880件	
		人間ドッグ等への助成利用件数	684人	708人	
	団体意見	共通割引利用券では、目標は達成し、コロナ前（令和元年）の水準に戻りつつある。契約先施設も少しずつ増やしているが、利用が伸び悩む理由を検証し、改善したい。 人間ドッグ等は、令和5年度2月から補助金申請がオンラインで可能となり、申請の手間の減少により、今後申請数の増を見込んでいる。			
	関係課意見	契約先施設の増加や申請のオンライン化による会員の利便性向上に努めることで、割引利用券の発行及び人間ドッグ受診費用への助成ともに目標値を大きく上回る実績となっている。近年の市内勤労者のニーズとして、心身の健康に関するニーズが高い傾向にあることから、引き続き、利用件数の向上に期待したい。			
3	項目		目標値	実績	備考
	自己啓発及び余暇活動に資する事業	チケット等あつ旋補助件数	13,730件	13,324件	
		共通割引券利用件数	31,815件	39,437件	
団体意見	チケット等あつ旋補助では、静岡県内外のコンサートチケット等をあつ旋するなどの対応をしている。また、事業者の協力により、市内のコーヒー店やそば・うどん店等契約店舗で使用できる割引チケットのあつ旋など、地元に着した事業は好評である。しかし、マンネリ化しつつある事業もあるため、新規開拓、新たな事業の企画を続けている。件数が減となった理由は、会員のニーズに合っていない、チケットの電子化が進んでいないことなど様々な要因があると考えられ、研究が必要である。				
	関係課意見	引き続き、新規開拓や新たな事業企画を行うことで、勤労者の自己啓発・余暇活動の充実を努めるようお願いしたい。また、件数が減少となった理由についても引き続き研究を行い、利用者の増加に努めていただきたい。			

（２）取組全体の総括

外郭団体
令和5年度は、人間ドッグ等補助金申請のほか、事業申込、追加入会申請、退会・変更届出も電子申請ができるようになった。会員にとって利用しやすいホームページの改修が今後の事業の利用増に繋がることを目指している。 会員の満足度が上がり、福利厚生の実充実となり、それが更なる会員拡大に繋がるように努めている。
静岡市
新規提携事業者の掘り起こし・交渉や、申請のオンライン化など、サービス内容の充実や会員の利便性向上に努めている点が評価できる。引き続き、会員アンケート等による勤労者ニーズの把握に努め、ニーズに見合ったサービスの展開に努めるようお願いしたい。

2 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	事業収入	90,656,939	86,369,146	共済金給付事業の減
	事業外収入	171,105,584	174,978,441	会費増による会費収入増
	その他			
	合計	261,762,523	261,347,587	
支出	事業支出	254,756,554	243,685,615	共済金給付事業の減、切取りクーポンの実施減、R4は自己啓発補助金の実施あり
	事業外支出	9,719,755	11,542,630	人件費
	その他			
	合計	264,476,309	255,228,245	
収支差		-2,713,786	6,119,342	

(2) 正味財産（純資産）の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	経常収益	261,762,523	261,347,587	
	経常外収益	29,999	0	
	その他			
	合計	261,792,522	261,347,587	
支出	経常費用	264,476,309	255,228,245	
	経常外費用	0	0	
	その他			
	合計	264,476,309	255,228,245	
収支差		-2,683,787	6,119,342	

(3) 資産の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	備考（増減理由・内訳等）
資産	固定資産	130,656,919	130,292,859	
	流動資産	70,920,699	79,420,269	
	合計	201,577,618	209,713,128	
負債	固定負債	3,639,926	3,576,686	
	流動負債	43,261,064	45,340,472	
	合計	46,900,990	48,917,158	
正味財産	基本財産／資本金	100,212,000	100,212,000	
	剰余金等	0	0	
	合計	100,212,000	100,212,000	

(4) 職員数の推移						
年度	種別	職員種別			合計	増減理由等
		市OB	プロパー	その他		
R4	常勤		5		5	
	非常勤				0	
	臨時		2		2	
	合計	0	7	0	7	
R5	常勤		5		5	臨時職員1名3月末退職
	非常勤				0	
	臨時		2		2	
	合計	0	7	0	7	
R6	常勤		6		6	嘱託職員1名を4月1日から正職員
	非常勤				0	
	臨時				0	
	合計	0	6	0	6	

(5) 財政・人員体制の現状分析・課題

<p>【財政】 現在も会員数は維持・増加傾向にあるが、さらなる会員数増加に務めることで安定した会費収入を維持することが必要である。また、令和6年度に公益法人制度に係る法改正への的確な対応も必要。</p> <p>【人員体制】 長い期間、臨時職員として勤めていた広報推進員1名が令和5年度末で退職し、令和6年度からプロパー6名体制で運営。広報推進の仕事もプロパー職員が手分けして活動しており、一層の事務効率化が必要となる。</p>

(6) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

<p>引き続き、会員のニーズを調査し、事業のスクラップアンドビルドを進める。会員の会費収入の維持が財源の安定につながるため、在会会員の退会防止と、会員拡大の広報推進に努めることが重要。</p> <p>人員体制としては、プロパー6名の内、3年目が2名、1年目が1名と勤務年数が短い職員が多いため、人材育成が課題。各種研修への参加、OJTの継続的实施等により、体制を整えていく。</p>

3 全体総括・評価

外郭団体

近隣SCと異なり、現状、会員数は維持・増加の状態にあるが、このことに甘んじることなく、引き続き入会増・退会減に繋がる魅力的なサービス提供を模索しなければならない。魅力的なサービスの提供のため、デジタル化による会員の利便性向上と、会員が望むサービスの把握に努める必要があるが、会員の望むサービスの把握については、そもそもアンケート等に回答してくれる層に偏りがあり、幅広い需要を把握することが難しい状況にある。
会員の入退会の状況についても、本市の雇用状況との関係の中での精緻な分析が必要と考えている。

静岡市

新規提携事業者の掘り起こし・交渉や、申請のオンライン化など、サービス内容の充実や会員の利便性向上に努めていることから、会員数は維持・増加傾向にあり、市内勤労者の福祉向上に大きな役割を果たしている。一方、事業によっては実績が目標を下回っていることから、引き続き、勤労者のニーズ把握に努め、近年の勤労者ニーズに対応したサービス展開に努めていただきたい。

4 市への要望・意見（外郭団体記載）

補助金の交付水準の維持、市職員研修への参加枠の確保を引き続きお願いいたします。

5 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

会員アンケートの他、市が実施している各種調査の結果等も踏まえ、近年の勤労者ニーズに対応したサービス展開に努めるようお願いいたします。